

# 研究所だより

第322号  
2012年7月11日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

<研究協力校への出前授業 研究員:田中聡子>

構成的グループエンカウンターエクササイズ (SGE)

授業者：田中 聡子  
平成24年6月27日(水) 5校時  
中浜小5年(0・8) 6年(1・4)

教材－無人島SOS

○友だちの多様な考え方を知り、お互いを認め合える人間関係を築く

○自分の考えを主張する

エクササイズ	内容と流れ
自己紹介 5分	<p>*教師</p> <p>①教師の質問に挙手で答える 「私は恥ずかしがり屋です」(感情に関すること) 「私の小さいときの夢は刑事になることでした」 (価値観に関すること) 「私の趣味は釣りです」(事実に関すること) 「私には3人の子どもがいます」(事実に関すること)</p> <p>②質問する 「なぜそう思ったの」</p>
インストラクション 10分	<p>・これから冷静沈着(板書に意味を添える)に自分の意見を言ったり、友だちの意見を聞いたりするゲームをします。</p> <p>・ワークシートを見てください。 「貴方は大きな船で旅を楽しんでいました。ところがひどい嵐がやってきて船は壊れ、無人島に到着しました。非常袋に入れられる品物は8つです。島で生き抜いていくため、または無人島から脱出するために、ワークシートに書いてある品物から8つ選んでください。」</p> <p>・まずは、一人で選んで、大事だと思う順番に順位をつけ、その理由を書いてください。</p>
エクササイズ 20分	<p>①1人で品物を選んで順位をつけ、その理由を記入する。</p> <p>②3～4人組になり選んだ品物とその理由を聞き合う。</p> <p>③理由を聞いた後、最後にもう一度みんなと考えて順位をつける。</p> <p>④グループの意見をまとめる *多数決や平均を出して決めないこと。</p> <p>⑤グループごとに発表する。</p>
シェアリング 5分	<p>自分のグループの友だちの意見を聞いたり、他のグループの意見を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表してください。</p>
振り返りカード記入 5分	

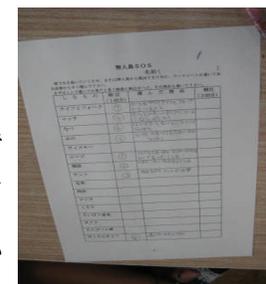
このエクササイズの使い方

- ・お互いに尊重し合える人間関係の基礎作りのために。自由に意見を出し合える雰囲気作りや、話し方、聞き方のトレーニングとして。

## 【振り返りシート】

6年

- ・無人島で生きぬかないといけない理由が自分も考えてなく、みんなそれぞれちがった意見をもっていたので良かったです。イカダを作るのにロープを使ったり、いろいろおもしろい方法がわかってよかった。
- ・無人島SOSのゲームをして最初は自分の意見で書いていて、えんぴつや紙などは必要ないだろうと思っていただけ、他の人の意見を聞いて、同じ品物でも色々な使い道があるなと思いました。
- ・楽しかったです。
- ・班での1位を私の言ったぼうえんきょうにしてくれて、うれしかった。無人島には行くこともないと思うけど、私たちが決めた8つのものを持っていけば、生き残れるかもしれないと思いました。
- ・無人島SOSで他の班のを聞いて、それぞれやっぱりちがうなあと思いました。私たちの班はぼうえんきょうを①にしなくてもよかったじゃないかとかうかいを少ししています。でもとても楽しかったです。
- ・今日の勉強でみんなの考えがきけてよかった。でもウィスキーはすてずにつかったらいいと思った。



なと思いました。



授業参観者より

- ・普段と違う姿が見られた。
- ・小グループで静かに意見が聞け合っていた。
- ・理解が難しい子も生き生きとした表情で参加できていた。
- ・子どもの考えを先入観で見たいいけないと思った→子どもの能力を実感した授業。
- ・子どもがやっても大人がやっても面白い教材。
- ・話し合いができていた→共学びとつながる。

## <用語解説>

### インストラクション

リーダーがエクササイズの目的、方法、留意点を教示することを言う。簡潔明瞭がコツ。目的を言う際には、リーダー自身の体験を通して語りかけるとよい。

### エクササイズ

SGEを構成する主要な要素で、心理面の発達を促す課題のことをいう。主たる内容は、思考・行動・感情の共有を誘発するもの。これが触れ合う人間関係をつくる。

### シェアリング

「分かち合い」の意。エクササイズを通して気づいたり感じたりした、自分のことや他者のことを本音で伝え合い、共有し合うSGEの柱の一つである。

## 無人島SOS

島で生き抜いていくため、または無人島から脱出するために、ワークシートに書いてある品物から8つ選んで下さい。

まずは1人で選んで大事だと思う順番に順位をつけ、その理由も書いて下さい。

しなもの	順位(1回目)	選んだ理由	順位(2回目)
ナイフとフォーク			
マッチ			
なべ			
おの			
ウイスキー			
ロープ			
海図			
テント			
毛布			
時計			
ラジオ			
くすり			
さいほう道具			
カメラ			
えんぴつと紙			
ぼうえんきょう			

## <SGE活用のポイント>—構成的グループエンカウンター辞典より

### 1, 校内研修でSGEの手法を取り入れる

校内研修は、職員同士の触れ合いがあり、自己発見ができるものでありたい。そこで、様々なテーマや内容で行われる研修にSGEの手法を取り入れるのである。例えば、研修会の初めに、動機付けのために簡単にゲーム的なエクササイズを行ったり、研修のテーマについて悩んでいることや困っていることなどを出し合ったりする。また研修自体をエクササイズと考え、研修会の終わりにシェアリングを行う方法である。

そうすることで、研修に対する不安感を軽減することができるし、自分のしたい研修計画がはっきりすることにも繋がる。年齢も経験年数も専門教科も多様な職場で、効率的に有意義に研修を進めることができるであろう。

### 2, 職場の人間関係を改善する

短時間のSGEに初めて参加した人には「酒がない飲み会のように安心してお互いのことが話せた気がする」という感想が多い。SGEを校内研修で行うことで職場の人間関係を改善することも可能である。この場合は、無理なく実施できる時間を設定し、簡単なエクササイズを行うこと、年齢や職場での立場や役割をはずして行うことができる。リーダーを上級カウンセラーなどの専門家に依頼するとよいだろう。

### 3, SGEを学ぶための校内研修

SGEは、対人関係能力を形成し自己理解を深めることを目指しているので、

生徒指導の研修会で取り上げられることも多いこの場合は、子どもたちの実態を踏まえたうえで、どんな課題があり、どんな力をつけたいのか明確にして、研修を行うことが効果的である。せいぜい2～3時間の研修であると考えられるので、SGE経験豊富な上級カウンセラーなどに事前の子どもの実態や課題を知らせておき、それをもとに学級で活用できるSGEについて講師を依頼するとよいだろう。各担任は研修した内容を自分の学級に使いやすいようにアレンジして活用することが望ましい。SGEを行う特別な時間を設定しようとせず、学校教育の全領域で使えるような場面を弾力的に設定するようにする。

## <Q-Uの調査結果を受けて>

各学校、Q-Uの調査結果が来たのではないのでしょうか。Q-Uは楽しい学校生活を送るためのアンケート調査です。この調査を実施することで、子ども個人の情報と学級集団の情報をもとに、不登校になる可能性の高い子どもや、いじめを受けている可能性の高い子ども、学校生活の意欲が低下している子どもの早期発見に繋げることができます。この調査結果を教師がうまく活用することで、子ども個々の能力を高めることになるし、学級集団を高めることとなります。

しかしながら、先生方の中には、自分の指導力が映し出されるようで怖いと感じられる方がいます。そう感じさせる雰囲気があることが問題なのです。

Q-Uを用いた学級集団づくりは研究員の田中先生が豊富な実践例を持っています。ご気軽に相談ください。出前授業もします。

## <夏季休業中研究所行事>

- ・わくわく英語教室—8月1日(水) 9:00～15:00  
会場—教育センター
- ・教研推進委員会—8月2日(木) 14:00～16:45  
会場—教育センター
- ・あすなろネットワーク—8月3日(金) 15:00～16:45  
会場—教育センター  
講師—兼松 和典 先生
- ・パソコン講座—8月7日(火) 14:00～16:45  
会場—教育センター  
講師—松田 勤 先生(清水小)
- ・わくわく科学教室—8月10日(金) 9:00～16:00  
会場—清水小学校  
内容—低学年「ドライアイスで遊ぼう」  
中学年「三態変化」  
高学年・中学生「吹き矢の力学」
- ・第62次教育研究集会—8月23日(木) 9:00～16:45  
午前—全体会(講演)  
午後—各部会単位

